

育成会だより

2020年度 第3号

発行：認定 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町 7 番 9 号

TEL: 0796-24-3660

FAX: 0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 2021 年 1 月 29 日

理事長より新年の挨拶



新しい年を迎えるのは、本来喜ばしいはずなのですが、今年に限っては、昨年からの新型コロナウイルス禍により、お正月気分を味わうどころではない状況です。全国的な感染拡大に終息の兆しは見え、兵庫県においても緊急事態宣言が発出され、感染予防に余念がない現状です。

昨年は、コロナ禍のために、何かにつけて例年通りとはいかず、それでも「ピンチはチャンス」と、様々な工夫をして活動を行ってきました。恒例のはばたけ旅行も、出石・城崎など近場で小グループごとに実施しました。地元だからこそ普段は宿泊することもないため、皆さん却って新鮮で楽しめたようです。11 回目を迎えたフェスタはばたけは、広く一般に向けてとはなりませんでしたが、利用者さん・スタッフ総力を結集し、『ほっとステージ』での演目は正に圧巻！これまでで、一番素晴らしいフェスタだったのではないかとの声も聞かれるほどでした。

このように、コロナ禍だからと活動を中止することなく、「出来る事を出来る形で」進めてきました。今後も、より一層入念なコロナ対策を講じつつ、新しい年が「災い転じて福」の年となりますよう、皆様、共に力強く歩みを進めていきましょう。

理事長 中井 佳子

生活介護 ほっと より

元気です。フェスタはばたけ 11th で、ほっとは「ファッションショー」「マジック・ハンドベル」で会場を盛り上げることにしました。ファッションショーでは限られた時間の中、衣装選びから始まり、構成・演出等、素人ながらに試行錯誤を繰り返し、一致団結して準備してきました。そして、練習もままならない中迎えたフェスタ当日。利用者さんそれぞれが華やかに着飾り、ランウェイ上で披露。笑顔あり、ポーズあり。観客の皆様からも好評の声が幾つも上がりました。短期間での仕上げで、正直不安もありましたが、さすが利用者さん、本番に強い。職員の方が緊張していたかもしれません。来年はコロナが終息し、盛大なるフェスタが開催される事を願い、大勢の皆様笑顔と感動を提供したいと考えていますので、どうぞ期待しててください。

コロナ禍でありながら何のその、利用者さんは通常通り



<H>

就労継続支援B型 すいーつより

12月に行われたフェスタはばたけ 11th での出し物。引っ込み思案な方が多いのか、利用者さん達にどんな出し物がしたいか尋ねても、全く意見が出ませんでした。仕方なく「よさこい鳴子踊り」を提案して決めたものの、やはりなかなか積極的になれません。そんな中、意外な利用者さんがとてもやる気になってくれました。その方が頑張っている姿を見せてくれることで、他の利用者さん達も徐々にやる気になっていき、練習に参加されるように。本番まで短い期間しかなかったのですが、みんなで頑張って練習しました。またステージで振る大漁旗は、二人の利用者さんがそれぞれにデザインを考えて描き上げ、とてもレベルの高いものに仕上がりました。



いよいよ本番。緊張の面持ちの利用者さん達でしたが、練習の甲斐もあり、そのパフォーマンスは素晴らしいものでした。練習では真面目に取り組めなかった利用者さんも、本番では真剣な顔つきでした。

ご覧になった皆様、楽しんでいただけたでしょうか。みんなで頑張ったことが、心に残っていれば嬉しいです。
<M>



生活介護 じゃんぷ より

じゃんぷでは活動の一環として、週に一回程度お出かけの場を設けています。先日は但馬空港へ。運良く、飛行機とヘリコプターの離陸を見ることができ、目を輝かせ興奮する利用者さん。「すごい」と驚いたり、「おーい」と手を振ったり。横一列になり飛行機を見ている姿に、とても温かい気持ちになりました。

フェスタはばたけ 11th では「河内おとこ節」を披露。ダンスをする人、太鼓をたたく人、それぞれの得意な分野を生かし、大成功に終わりました。

年末のお疲れ様会では、ティータイムをしながら、フェスタや旅行の動画を鑑賞。楽しく和やかな雰囲気、一年の良い締めくくりになりました。

2021年も、個性豊かなじゃんぷ利用者さんと、活動を共にしていきたいです。
<Y>



障害児通所支援事業 つくし より

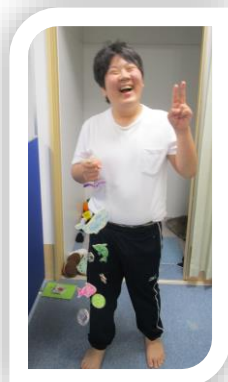


フェスタはばたけ 11th のステージイベントに、つくしの子供たちも参加しました。ステージ発表は今回、初めての経験です!! 1曲目は、日頃から音楽遊びで親しんでいる、アンパンマンの「サンサン体操」を踊りました。クリスマスバージョンの衣装と動物の着ぐるみで可愛らしさをUP。2曲目は、みんな大好きな「パプリカ」をダンシング♪。それぞれが、自分の個性や感性を思いっきりステージで表現できました。

リハーサル無しのぶっつけ本番でしたが、保護者の方から、「子供たち同士が自然にふれあいながらダンスしている姿を見て、普段からつくしで楽しんでいることがよくわかりました。良い経験をさせてもらいました。」と感想もいただきました。みんな、めっちゃめっちゃ笑顔でした♥そして、会場の皆様と一緒にダンスができ、素敵な思い出もできました。

また、年末の活動として、“モバイル”と“お正月飾り”製作にも取り組みました。

皆様、昨年中はありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。 <N>



グループホームOHANA より



新年あけましておめでとうございます。

年末より自粛生活が続いていますが、OHANAにも当然その波が押し寄せてきています。

そんな渦中でも、年末年始はゆっくりとご家族と過ごされたと思います。皆さん清々しい顔で、それぞれの施設に帰って来られました。

一方、OHANAで年を越された利用者さんもおられます。寂しい気持ちもあるとは思いますが、如何にリラックスして、楽しく過ごして頂けるかを考えて支援させていただきました。

挨拶くらいしか、新年らしいことはできませんでしたが、利用者さんと世話人だけの元旦の朝も、とても清々しかったです。 <S>



ヘルパーステーションはあと より



コロナ感染対策を講じながらのお出かけが続く中、はあとでは、少しでも利用者様が楽しめる過ごし方を模索しています。

その中で、要望として「おいしいものが食べたい。」というお声をお聞きすることがあります。出かけた先で三密にならないよう、少しでも安全な席を事前にとらせて頂くなど、当日は職員・利用者様共に不安なく過ごせるように工夫しながら進めているところです。

写真は、「花籠御膳」という、普段はなかなか食べることのない、見た目がとてもきれいなメニューを利用者様ご自身で指差しで選ばれ、「これにする。」と注文された時のものです。膳を目の前にしてとても喜ばれ、「おいしい、おいしい。」と箸が進み、苦手なお造り以外は完食されました。

食事以外は大きな声で話さないこと、マスクの着用をお伝えし、感染予防も意識して出来るようにお伝えしながら、楽しいひとときを過ごされました。

<A>



フェスタはばたけ 11th

去る12月19日、フェスタはばたけ 11thを開催しました。今年はコロナ感染予防のため規模を縮小し、ステージイベントは全て職員・利用者さんでの手作りで構成。準備、練習に追われる日々を経て、バタバタと当日を迎えました。

ステージで輝く利用者さんたち。みんなこんなにすごいんだ！頑張ってやってきて良かった！と、感動に心が震えました。温かく熱心にステージを見つめる観客の皆さん、一緒に笑い、踊ってくれた利用者さん、職員たち。とても素敵な空間をみなさんで共有できたことに、職員一同、感謝です。最後まで残って、一緒に後片付けをしてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。はばたけ内外の、たくさんの方々のご協力のおかげで、とても素晴らしいフェスタとなりました。 <W>



編集後記

感染予防対策で、何かと自粛の日々。いつかマスク無しの生活が戻ってくる日を待ちわびながら、心のアンテナを高くして、こんな今だからこそ出来る事を増やしていきたいです。

健康管理に気を付けて、皆様にとって笑顔あふれる一年となりますように。

<W>